



社協だより



いきいきふれあいセンター（桜町）に設置してあるシトラスリボンプロジェクトのオブジェ

【シトラスリボンプロジェクトとは】

コロナ禍で生まれた「差別」「偏見」を耳にした愛媛県の有志の方々がつくったプロジェクトで、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動です。

「ただいま」「おかえり」と言いあえるまちなら、安心して検査を受けることができ、ついでに感染拡大を防ぐことにつながります。

新型コロナウイルスの感染者や家族、医療の最前線で働いている方々への誹謗中傷や差別のない社会となることを願って「ここ那須塩原市」から！



那須塩原市社協
QRコード



令和元年度の事業報告をします

法人運営

理事会・評議委員会等の開催

理事会 4 回開催、評議員会 3 回開催、基金運営委員会 2 回開催

会員加入推進

普通会員	20,935世帯	10,473,600円
施設会員	21施設	100,000円
特別会員	400事業所等	1,968,000円

寄付の受け入れ

福祉基金	134件	1,561,823円
交通遺児基金	20件	377,351円
善意銀行（金品）	5件	98,000円
（物品）	124件	タオルなど

地域の福祉活動を支援するために

地域住民助け合い事業

平成27年度から進めてきましたこの事業は、市内15カ所の公立公民館エリアを単位とした地域活動住民助け合い活動をめざし、これまでに15地区の公立公民館（黒磯公民館、厚崎公民館、稲村公民館、とようら公民館、鍋掛公民館、東那須野公民館、高林公民館、西那須野公民館、狩野公民館、南公民館、西公民館、三島公民館、大山公民館、塩原公民館、ハロープラザ）に1名ずつ地域支え合い推進員を配置し、地域ぐるみで見守り体制づくりを進め84の自治会が見守り活動に取り組みました。



三島地区コミュニティ地域住民助け合い事業情報交換会の様子

地域福祉活動補助金事業

自治会等が主体となり地域で行う地域福祉活動へ補助金を交付し、地域の連携と協力体制を構築し地域の課題解決への支援に取り組みました。

補助事業件数：111団体 206事業

補助金交付額：9,509,000円



西赤田スポーツ交流会事業

福祉協力店

地域福祉活動を積極的に推進している事業所等を福祉協力店として登録し、地域福祉活動の拠点づくりを推進しました。登録事業所：89件

地域の福祉サービスの充実のために

日常生活自立支援事業（あすてらすなすしおばら）

認知症高齢者や障がい者等が地域で安心して生活できるように支援しました。

契約件数：149件

生活困窮者自立支援事業・家計改善支援事業

生活上の不安（住居や就職等）を抱える人への自立に向けた支援や、自立した家計を管理できるよう支援しました。相談件数：123件

給食（黒磯地区）・配食（西那須野地区）サービス事業

ボランティアに協力をいただき、ひとり暮らし高齢者等に週2回お弁当を届けながら利用者の生活を見守りました。

利用者数：「給食サービス」54人 「配食サービス」92人

ふれあい相談事業（心配ごと相談、無料法律相談）

日常生活上の相談や、弁護士による専門的な法律についての相談を行いました。相談件数：「心配ごと相談」38件 「無料法律相談」336件



給食サービス調理の様子

ボランティアを支援するために

ボランティアセンターの運営

ボランティアに関する相談やボランティアの紹介、各種ボランティア講座やボランティア交流会の開催等を行いました。

センター相談件数：4,636件

ボランティア登録者数：2,521人（団体108、個人102人）

マッチング件数：660件 **活動人数**：延べ1,294人

災害支援活動

- ・台風15号の被害による災害ボランティアセンターの運営支援
9月29日～10月3日（5日間）
千葉県鴨川市 職員1人参加
- ・台風19号の被害による災害ボランティアセンターの運営支援
10月18日～12月8日
栃木市・宇都宮市・那須烏山市 職員延べ126人参加
- ・台風19号の被害による栃木市へのボランティアワゴンの運行
11月5日～11月8日（4日間）
延べ34人参加（ボランティア26人・職員8人）



夏休み親子ボランティア教室



栃木市での災害ボランティア活動

介護サービスの充実のために

居宅介護支援事業所

ケアプラン（居宅サービス計画）を作成し、サービス提供事業者等と連携調整を図りながら、在宅での自立した生活を営むことができるよう支援しました。

延べ利用者数：1,927人（介護予防支援を含む）

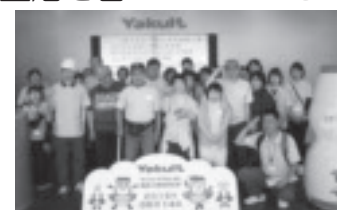
障がいのある方を支援するために

相談支援事業所の運営

障害福祉サービス等利用計画を作成し、福祉サービス事業者等との連絡調整、計画の定期的な見直し（モニタリング）を行い、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう支援しました。 **延べ利用者数**：568人

地域生活支援事業「ふれあいの森」の運営

企業等からの請負作業や農作業などを行い、利用者一人ひとりの能力や適性に応じ、地域の障がい者のための通所による援護事業を行いました。 **利用者数**：17人



「ふれあいの森」養育訓練の様子

生活介護・就労支援事業「心の里」「つくし」の運営

障害者総合支援法に基づく多機能型事業所として、生活介護・就労継続支援事業を行いました。企業等からの請負作業や農作業、クッキー作りなど生産活動の就労の機会を提供しました。また、身体機能の維持、生活能力の向上のために支援を行いました。

利用者数：「多機能型事業所 心の里」28人 「多機能型事業所 つくし」29人



「心の里」牛乳パックの紙すきの様子



「つくし」もちつき大会の様子

ここでは、事業の一部を紹介しています。詳しく知りたい方は、社協ホームページ（<http://ns-shakyou.jp/>）をご覧ください。



令和元年度の決算報告をします

収入

(単位：円)

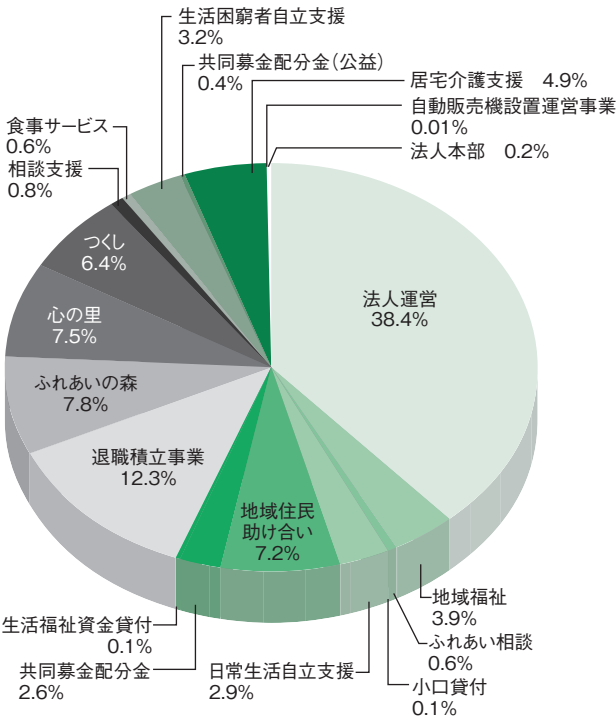
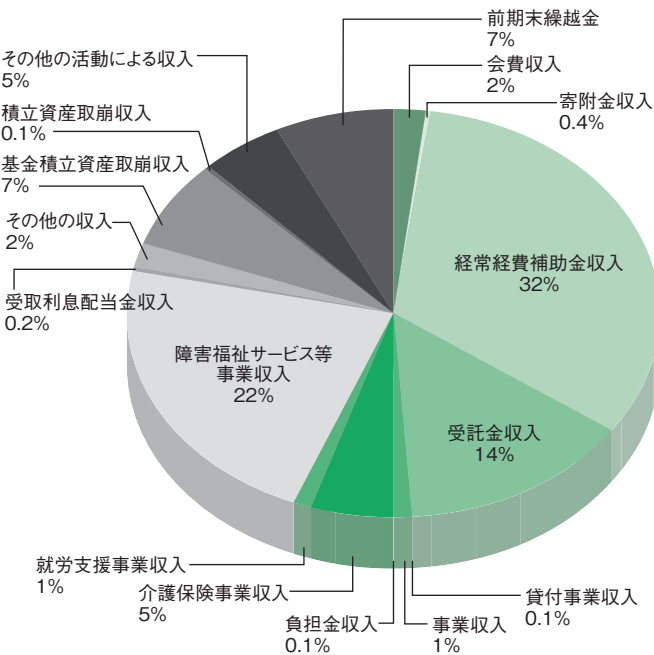
項目	決算額
会費収入	12,541,600
寄附金収入	2,037,174
経常経費補助金収入	175,402,239
受託金収入	77,558,011
貸付事業収入	785,000
事業収入	3,678,652
負担金収入	418,083
介護保険事業収入	27,715,050
就労支援事業収入	8,058,448
障害福祉サービス等事業収入	123,056,466
受取利息配当金収入	1,208,699
その他の収入	12,471,473
基金積立資産取崩収入	35,843,471
積立資産取崩収入	798,000
その他の活動による収入	26,072,940
前期末繰越金	39,840,342
合計	547,485,648

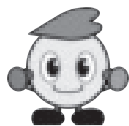
支出

(単位：円)

項目（サービス区分）	決算額
法人本部	951,212
法人運営	198,239,642
地域福祉	20,189,130
ふれあい相談	3,232,917
小口貸付	487,300
日常生活自立支援	15,084,346
地域住民助け合い	36,950,273
共同募金配分金	13,646,766
生活福祉資金貸付	271,091
退職積立事業	63,230,720
ふれあいの森	40,121,780
心の里	38,728,470
つくし	33,058,488
相談支援	4,037,781
食事サービス	3,326,979
生活困窮者自立支援	16,505,294
共同募金配分金（公益）	2,314,977
居宅介護支援	25,248,730
自動販売機設置運営事業	59,926
合計	515,685,822

当期末支払資金残高	31,799,826
-----------	------------





役員・評議員を紹介します

役職	氏 名	選出区分
会 長	田口 三知子	社会福祉事業の経営に関する識見を有する者
副 会 長	大 森 利 男	民生委員・児童委員協議会連合会
常務理事	中 村 裕 二	社会福祉事業の経営に関する識見を有する者
理 事	松 本 和 重	社会福祉事業の経営に関する識見を有する者
	佐 藤 峰 子	ボランティア団体
	小 出 清 子	ボランティア団体
	橋 本 秀 晴	自治会長連絡協議会
	田 代 正 行	社会福祉関係行政機関
	後 藤 修	社会福祉関係行政機関
監 事	大 石 剛 史	学識経験者
	鈴 木 博	財務管理について識見を有する者
	五 味 洸 薫	社会福祉事業について識見を有する者

(任期：令和元年6月25日から令和2会計年度に関する定時評議員会終結の時まで)

役職	氏 名	選出区分
評議員	原 修 一	介護保険事業者
	田 代 茂 樹	民生委員・児童委員協議会連合会
	松 本 武	民生委員・児童委員協議会連合会
	寺 戸 博 道	民生委員・児童委員協議会連合会
	本 澤 恵 美 子	社会福祉団体(当事者組織)
	関 谷 眞 夫	社会福祉団体(当事者組織)
	高 橋 美 代 子	社会福祉団体(当事者組織)
	渡 邊 民 生	自治会長連絡協議会
	松 本 祥 三	自治会長連絡協議会
	伊 吹 桂 子	ボランティア団体
	相 馬 秀 和	保護司会
	増 淵 祐 子	地域包括支援センター
	人 見 延 江	特定非営利活動法人(高齢者)
	西 田 由 記 子	特定非営利活動法人(児童)
	遠 藤 真 史	特定非営利活動法人(障害者)

(任期：平成29年4月1日から令和2会計年度に関する定時評議員会終結の時まで)

赤い羽根共同募金が始まりました。

運動期間 10月1日(木)～12月31日(木)

～赤い羽根募金活動は、町の人の「やさしい気持ち」を集める活動です～

【赤い羽根共同募金とは】

赤い羽根共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する「じぶんの町を良くするしくみ」です。

【主な使い道】

共同募金は、さまざまな民間の地域福祉活動に使われます。具体的には…

- ・地域の社会福祉施設の設備や備品等の整備
- ・地域で活動する社会福祉団体やボランティア団体への助成
- ・地域で行われるサロン活動やボランティア活動など、地域福祉推進事業への助成
- ・大規模災害の被災地への義援金や、災害等準備金の積立など

この他にも、多岐にわたる目的で使用されています。地域ごとの詳しい募金の使い道については、赤い羽根データベース「はねっと」<https://hanett.akaihane.or.jp/>でご覧になれます。

たくさんの「やさしい気持ち」が共同募金を通じて地域の福祉を支えています。



第15回社会福祉大会の式典及び記念講演中止のお知らせ

令和3年1月30日(土)に開催を予定しておりました「第15回社会福祉大会」は、新型コロナウイルス感染拡大に対する安全面を最優先に考え、式典と記念講演を中止します。

なお、社会福祉の増進に貢献された個人・団体や篤行善行児童生徒などへの表彰は実施します。



まごころありがとうございます

令和2年6月1日～8月31日寄付分

次の方々からあたたかい寄付をいただきました。

〔（ ）の中は社協合併後、平成17年度からの通算回数、順不同、敬称略〕

福祉基金へ	
株式会社クワバラ・パンぷキン	(16回目) 100,000円
黒磯郷土史研究会	(1回目) 173,997円
東那須野地区婦人会	(21回目) 10,000円
法真寺	(3回目) 5,000円
室井 政樹	(1回目) 25,000円
株式会社伊藤園那須支店	(11回目) 3,744円
相馬タイ子	(21回目) 5,000円
匿名	(4件) 12,475円

交通遺児基金へ	
那須塩原フライングディスク協会	(74回目) 3,000円
ブリヂストン労働組合栃木支部	(33回目) 50,000円
室井 政樹	(1回目) 25,000円

福祉協力店の募金箱（5件）12,330円
 釜彦／山内園／日藤自動車工業／
 中華料理三区／(株)エツリン
 このお金は福祉基金に繰り入れられます



善意銀行へ	
日本キリスト教団西那須野協会	(3回目) お米25キロ他食料品24点
江川 アイ	(1回目) ガーゼ5m
後藤 吉美	(1回目) 手作りマスク100枚
清水 康弘	(1回目) お米25キロ
西那須野ライオンズクラブ	(6回目) 100,000円
社会福祉法人清幸会	(1回目) 食料品168点
まつばら荘・第2まつばら荘	(1回目) 食料品168点
阿久津 良	(1回目) マスク生地・ゴム5点
天鷹酒造(株)	(1回目) 甘酒120本
阿久津 京子	(2回目) 組ひも機械一式
佐藤 カツ子	(1回目) マスク布地14m、2反
JTGY那須支部	(3回目) 手作りマスク23枚
公益社団法人大田原法人会 大田原信用金庫西那須野支店	(1回目) タオル10枚
公益社団法人大田原法人会 桐リビンショップミカワ	(1回目) タオル10枚
公益社団法人大田原法人会 (株)生駒組	(1回目) タオル21枚
公益社団法人大田原法人会 (株)塩原屋	(1回目) タオル21枚
公益社団法人大田原法人会 大和車輦整備(株)	(1回目) タオル48枚
社会福祉法人太陽の里福祉会	(2回目) 米30キロ他食料品26点
室井紀子	(2回目) 手作りマスク30枚
西那須野幼稚園保護者・職員	(2回目) 食料品9点
栃木県退職公務員連盟那須北支部	(3回目) タオル746枚
点訳サークルでこぼこ	(2回目) オーナージャック1個
公益社団法人大田原法人会 錦木電気工事(株)	(1回目) タオル26枚
那須やまなみの会	(1回目) ハガキ・切手9,682円分
乃木C.S.P	(1回目) 20,380円
(株)イフ アンド リブ	(1回目) うどん1箱
塩釜生きがいサロン	(10回目) 雑巾180枚
社会福祉法人邦友会 特別養護老人ホーム栃の実荘	(2回目) 食料品5点
なすの斎場グループ	(2回目) そうめん11箱他食料品19点

渡辺 麗子	(1回目) 車いす1台
八木沢ふみ子	(13回目) ベビー服等86点
(株)相互企画・岩谷産業(株)宇都宮支店	(1回目) カセットコンロ16台
西那須野幼稚園	(1回目) じゃがいも20キロ
西那須野商工会 女性部	(3回目) お米他食料品200点
キャノンメディカルシステムズ労働組合	(6回目) 布マスク50枚
森永牛乳県北ミルクステーションD&H	(10回目) タオル270枚
社会福祉法人清幸会特別養護老人ホーム あじさい苑	(2回目) レトルト食品等96点
ZAPP西那須野	(119回目) お菓子21箱
西那須野ロータリークラブ	(4回目) 食料品172点
ガイアらくらく館黒磯店	(61回目) お菓子3箱
ZAPP黒磯	(122回目) お菓子9箱
ひなの会	(1回目) マスク35枚
匿名 (20件)	マスクの材料等60点、手作りマスク665枚、雑巾50枚、お米20キロ、食料品38点、お椀9個



「福祉のお仕事就職フェア(県北エリア)」のお知らせ

日時 令和2年11月21日(土) 午後1時～午後3時30分
会場 矢板イースタンホテル (住所：矢板市末広町24-1)
内容 福祉の仕事に就きたい方と求人事業所との相談会。
 福祉の仕事や資格の相談もできます。
対象市町 矢板市、大田原市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、
 塩谷町、高根沢町、那須町
問合わせ 栃木県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター
 TEL 028-643-5622 FAX 028-623-4963



ボランティアセンターだより

コロナ禍活動!!ベルマーク収集



～すべての子どもに等しく、豊かな環境のなかで教育を受けさせたい～

ベルマーク運動は、そんな願いを込めて1960年に始まりました。PTAなどのボランティアで生み出された資金(ベルマーク預金)で学校の設備や教材をそろえ、さらに国の内外でハンディを背負いながら学んでいる子どもたちの支援にもつながっています。

マーク集めから始まる誰でも気軽にできるボランティアです。



集めたベルマークを個人で預金にすることはできません。みなさんの近所の参加学校などに贈るか、「ベルマーク教育助成財団」に直接送り、全国の学校支援につなげてもらいましょう！震災を受けた学校の支援にもつながります！

参加学校などに贈られた場合は、その学校などの預金になり備品購入の助けとなります。

こんな応援例

- ・子どもが卒業しても母校を応援しているお母さんがいます。
- ・企業のなかにはベルマークを集めているボランティアグループがあります。
- ・お店に収集箱をおいて、集まったら学校に持ち込んだり、取りにきてもらったりする商店があります。



みなさんの身近な参加学校など(順不同)

西那須野幼稚園・すぎのこ幼稚園・すぎのこ三島幼稚園・東小・三島小・南小・西那須野中・三島中・大原間小・埼玉小・豊浦小・黒磯中・厚崎中・黒磯北中・那須特別支援学校

※那須塩原市社会福祉協議会の窓口にも回収BOXがあります！



『自治会福祉活動』『福祉協力店活動』としてベルマーク収集活動を始めてみては！

(参考：「ベルマーク教育助成財団」ホームページより)



地域支え合い推進員 鈴木 は見た!!!

(厚崎公民館区担当)

今回は、厚崎地区の地域支え合い推進員が地域での活動をみなさんに紹介します。厚崎地区には23の自治会があり、その中でも豊浦町自治会は地域住民助け合い事業により高齢者見守り活動を行っております。その活動内容は、



見守り活動の様子

自治会見守り隊(自治会長、民生委員など)が毎月1回、ボックスティッシュやハンドソープ、自治会長が独自に作成した防犯などの注意喚起のチラシを対象者(65歳以上の独居高齢者、高齢者のみの世帯、敬老会招待者)に届け、安否確認を行っています。活動を行うことによって、高齢者の話し相手になったり、自治会見守り隊と顔を合わせることで自然と笑顔になり、良い関係性を築ける工夫をしています。

今後も地域の横のつながりを育むことで住民の孤独感や不安をなくし、笑顔があふれる豊浦町自治会に期待してまいります。

今後もあなたの地域の「宝物」となるような活動を見つけに行きます！



シリーズ⑬

このコーナーは、地域支え合い推進員が地域で取り組んでいる様々な活動を紹介します。



挑戦してみよう!

地域からの挑戦状!!



出題者：黒瀧 文さん

第1問 難読漢字クイズ

「秋の虫」の漢字です。読めますか?

- ①豆娘 ②蝗 ③馬大頭 ④鋤形虫 ⑤叩頭虫 ⑥茅蜩 ⑦吉丁虫

第2問 言葉さがし

「まつたけ」という文字列が、4つ隠れています。

縦、横、斜めで探してみてください。

※答えの例はこのページの下にあるよ



ま	つ	た	け	あ	つ	け	ま
り	け	つ	ま	く	い	た	い
も	う	た	い	こ	す	つ	た
た	つ	け	る	ま	ん	ま	け
け	と	の	け	た	つ	ま	り
ま	つ	た	み	り	か	た	つ
い	け	ま	つ	ゆ	た	お	け
そ	た	け	ん	き	り	や	み

誰もが陥る可能性があります ~生活困窮者自立支援事業から~

Vol.13

第三弾は、60代における生活困窮のリスクを説明していきます。

介護の費用が払えない。

国民健康保険料を滞納してしまっている。



働いていない子どもの将来が心配。

退職後、年金だけでは暮らしていけない。

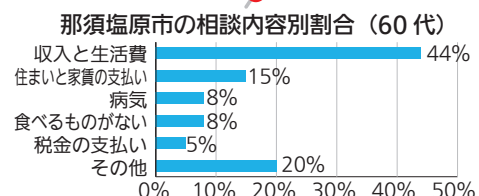
60代以上の方のお困りごとの特徴

定年退職後の第二の人生を過ごす世代。「老後は豊かに生活したい!」、けれど、生活費の不安も増える世代でもあります。定年退職後は収入が減少するため、年金だけでは不安だと仕事をする方も増えています。

しかし、年齢を重ねるごとに仕事に就くことが難しい現状です。収入が減少したところに医療費や介護費用のことを考えると、豊かな老後よりも日々の生活への不安が大きくなってしまいう方も少なくありません。

※老後の安心は今からでも準備できます!

- ◎ローンの支払いは、できるだけ定年までに終えましょう。
 - ◎年金や医療・介護が受けられるよう、年金や保険料、税金を納めましょう。
 - ◎年金内で生活ができるよう、家計を見直しましょう。
- 「お金の多さ」と「豊かな生活」は必ずしもイコールではありません!!



※H28年4月~H31年3月までの相談124件 中

社協は「生活の見直しと改善」の相談窓口です。あなたのこれからのことを一緒に考えていきます。

那須塩原市社会福祉協議会 生活支援係 TEL0287-37-6833 (直通) Eメール: seikatsu@ns-shakyou.jp

答え

第1問

- ①いととんぼ (糸蜻蛉とも書く) ②いなご
③おにやんま (鬼蜻蜓とも書く) ④くわがたむし
⑤こめつきむし (米搗虫とも書く)
⑥ひぐらし (蛸、秋蛸、日暮、晩蟬とも書く)
⑦たまむし (玉虫とも書く)

第2問

ま	つ	た	け	あ	つ	け	ま
り	け	つ	ま	く	い	た	い
も	う	た	い	こ	す	つ	た
た	つ	け	る	ま	ん	ま	け
け	と	の	け	た	つ	ま	り
ま	つ	た	み	り	か	た	つ
い	け	ま	つ	ゆ	た	お	け
そ	た	け	ん	き	り	や	み

発行 社会福祉法人 那須塩原市社会福祉協議会
住所 〒329-2705 那須塩原市南郷屋5丁目163番地 (健康長寿センター内)

TEL 0287-37-5122 FAX 0287-36-8710

ホームページアドレス <http://ns-shakyou.jp/> Eメールアドレス info@ns-shakyou.jpFacebook <https://www.facebook.com/nasushiobarashakyou/>

この社協だよりは、地域のみなさまからのご寄付や会費が財源となっています。